

**製品名: リン酸化 AKT1 (S124) (4J11) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe05846**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:50-1:200
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AKT1
別名	AKT 1; PKB; PKB-ALPHA; PRKBA; Protein Kinase B Alpha; Protein kinase B; Proto-oncogene c-Akt; RAC Alpha;
遺伝子 ID	207.0
SwissProt ID	P31749
免疫原	ヒト AKT1 の Ser124 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

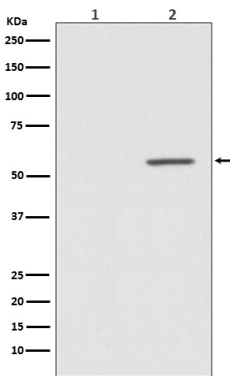
## 背景

Akt (PKB または Rac と呼ばれる) は、生存とアポトーシスの制御において重要な役割を果たします。このタンパク質キナーゼは、インスリンや様々な増殖因子・生存因子によって活性化され、PI3 キナーゼを介したワートマンニン感受性経路で機能します。Akt は、リン脂質結合と PDK1 による活性化ループの Thr308 のリン酸化、およびカルボキシ末端の Ser473 のリン酸化によって活性化されます。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



(1) アルカリホスファターゼ溶解物で処理した MCF-7 細胞、(2) MCF-7 細胞溶解物における Phospho-AKT1 (S124) 発現のウェスタンブロット解析。